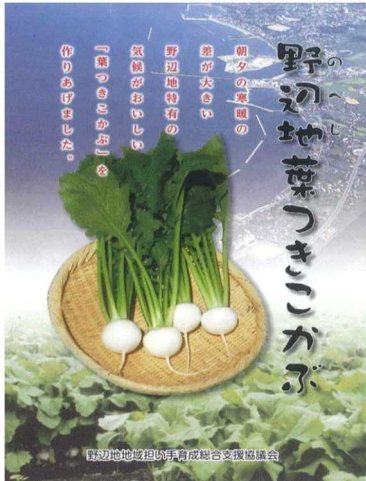


## 【野辺地町】 農山漁村の「地域経営」取組事例

### 野辺地地域担い手育成総合支援協議会の取組

野辺地町の農業は、水稻・野菜の個別複合経営が多く、後継者不足による作付面積の減少が課題です。

当町では、地域団体商標の認定を受けた「野辺地葉つきこかぶ」の産地の活性化と、地域の中心的な担い手である新規就農者の支援を行っています。



### 1 担い手農業者の育成・確保

当町では、平成30年度から町内の関係者で構成される「野辺地町就農移住推進協議会」を立ち上げ、就農移住者の受け入れを開始しました。その結果、平成30年度から令和3年度までの4か年で、就農移住者として期待される農業分野の地域おこし協力隊5名を受入ることができました。

協力隊に対しては、隊員としての3年間の活動期間において、地域のこかぶ生産者のもとでの実践的な研修を行い、関係機関・団体等は農地確保に向けた農地情報の提供や栽培技術・経営管理技術の習得支援を行うなど、こかぶ生産者として独立・自営就農できるよう支援しています。



(地域おこし協力隊のこかぶ生産状況確認)